# 農作物技術情報 第9号 野菜

発行日 令和7年11月27日

発 行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部

編 集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当(電話 0197-68-4435)

「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます パソコン、携帯電話から「https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/」 携帯電話用 二次元コード



- ◆ 寒じめほうれんそう ハウス内の温度管理を徹底し、収量・品質を確保しましょう。
- ◆ 促成アスパラガス 適切な温度・かん水管理を徹底し、収量を確保しましょう。
- ◆ 冬春 どり葉菜類 被覆資材の利用や換気等により、収量を確保しましょう。 (無加温ハウス)

## 1 技術対策

# (1) 寒じめほうれんそう

- ハウスの開閉による適切な温度管理を行い、収穫できる葉長まで生育させます。その後は、ハウスの入口やサイドビニールを開け、1週間程度5℃以下の低温に連続して遭遇させる「寒じめ」を行い、糖度の上昇を促します。
- ・ 寒じめ処理後は、平たく開張した、葉長 15~28cm のものを 収穫します(写真 1)。調製は下葉を取り除き、根を 3 mm 以 下に切りそろえ、土等の汚れはしっかりふき取ってから、袋 詰めします。



写真1 収穫直前の寒じめほうれんそう (ハウス内の温度管理が重要)

#### (2) 促成アスパラガス

- 伏せ込み後1週間~10日程度は無加温とし、徐々に地温を16~18℃まで上げます。
- ・ 萌芽開始後は、地温 15~16℃、トンネル内気温を日中 25℃ 以下、夜間 10℃以上を目標に管理します。また、日中はでき るだけ太陽光に当てて着色を促します(写真 2)。
- ・ かん水は伏せ込み床の乾き具合に応じて、晴天日の午前中 に気温が上昇してから行います。
- ・ 長さ 30cm 程度に達した若茎から順次収穫します。曲がりや 開き、細茎等は、早めに切り取り、根株の消耗を防ぎます。
- ・ 収穫量は伏せ込み後  $20\sim30$  日程度でピークを迎え、その後は徐々に減少していきます。収穫期間は  $1.5\sim1.8$ kg の標準的な根株で  $60\sim70$  日程度が目安となります。

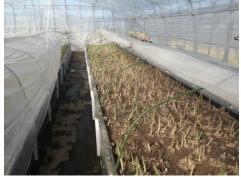


写真2 萌芽開始後の促成アスパラガス (太陽光に当てて着色を促す)

## (3) 冬春どり葉菜類(こまつな、さんとうさい、チンゲンサイ等)(無加温ハウス)

- ・ カーテン、トンネル、不織布等の被覆資材を利用して保温に努め、生育促進と凍害防止を図ります。ただし、被覆資材は光透過率の高いものを使用します。
- ・晴天日の日中はできるだけ換気を行って湿度を下げ、べと病や灰色かび病等の発生を防ぎます。
- ・ 生育中のかん水は、は種前に十分行っていれば必要ありませんが、明らかに水分不足が見られる場合は、晴天日の午前中に実施します。
- ・ 近年、冬春どり葉菜類で農薬残留基準を超過する事例が相次いでいます。農薬登録情報・使用 方法の確認、タンク・ノズル・ホースの丁寧な洗浄等、基本事項を徹底してください。

農作物技術情報の本年度定期発行は今号で終了となりますが、気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。